



認知症家族教室



H28年9月17日に第33回認知症家族教室を開催しました。

今回は、認知症サポート医である当院精神科医の井上医師と認知症治療病棟専従の安田精神科作業療法士よりお話をさせていただきました。

先ず井上医師からは、一般的な高齢者に多い身体症状である「めまい」、「頭痛」、「しびれ」、「脱水」の具体的な症状の説明があり、また、それらはどのような病気の可能性があるか等の医学的な解説がありました。

続いて、安田精神科作業療法士からは、認知症の方の生活障害や行動・心理症状がどのようにして起こるのか、また認知症リハビリテーションの意義やアプローチの方法については、学習療法や音楽療法、料理活動、園芸活動、編み物、回想法など実施例の紹介があり、どのような状態の方にどのような目的で実施しているのかを具体的にお伝えしました。

ご参加頂いたご家族から、「高齢者に多い身体症状は、自分のことも含め、豆知識として参考にしたい。」という声や「音楽鑑賞や園芸活動などはレクレーションとして楽しむ目的でやっていると思っていたが、個別で具体的な目的や効果を期待して行っている事を初めて知った」という声をいただき、精神科作業療法の取り組みも知っていただくことができました。

講義終了後に個別相談会を行い、4組のご家族に医師や看護師、作業療法士より患者さんの状況をふまえたアドバイスをさせていただきました。

次回は10月15日（土）に「認知症の方の関わり方」について、病棟の看護師からお話をさせていただきます。